

**製品名: COX4I2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09275**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

**抗原情報**

遺伝子名	COX4I2
別名	COX4I2; COX4L2; Cytochrome c oxidase subunit 4 isoform 2; mitochondrial; Cytochrome c oxidase subunit IV isoform 2; COX IV-2
遺伝子 ID	84701.0
SwissProt ID	Q96KJ9
免疫原	抗血清はヒト COX42 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

**背景**

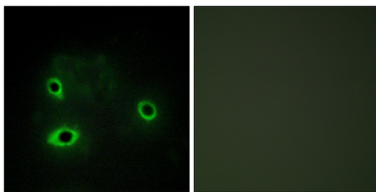
ミトコンドリア呼吸鎖の終末酵素であるシトクロム c 酸化酵素 (COX) は、還元されたシトクロム c から酸素への電子伝達を触媒し

ます。COXは、ミトコンドリア遺伝子によってコードされる3つの触媒サブユニットと、核遺伝子によってコードされる複数の構造サブユニットからなるヘテロ多量体複合体です。ミトコンドリア遺伝子によってコードされるサブユニットは電子伝達に機能し、核遺伝子によってコードされるサブユニットは複合体の調節と構築に関与していると考えられます。この核遺伝子はサブユニットIVのアイソフォーム2をコードしています。サブユニットIVのアイソフォーム1は別の遺伝子によってコードされていますが、2つの遺伝子は類似した構造構成を示しています。サブユニットIVは、核遺伝子によってコードされる最大のサブユニットであり、COXの調節において重要な役割を果たします。 [RefSeq 提供、2008年7月]機能:このタンパク質は、ミトコンドリア電子伝達系の末端酸化酵素であるシトクロムc酸化酵素の核コード化ポリペプチド鎖の1つです。類似性:シトクロムc酸化酵素IVファミリーに属します。、組織特異性:肺で高発現します。、

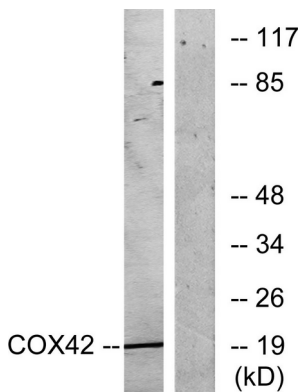
## 研究分野

酸化的リン酸化、心筋収縮、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

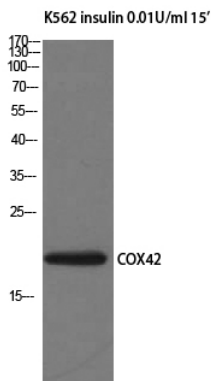
## 画像データ



COX42抗体を用いたCOS7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



K562細胞ライセートをインスリン0.01U/mlで15分間処理し、COX42抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



COX42ポリクローナル抗体を用いたK562インスリン0.01U/ml 15'細胞のウェスタンブロット分析